



学生視点で繁盛店を提案！

経営学科 西ゼミ

マーケティングの視点から魅力的な個店づくりを行う鹿児島市との連携事業『大学連携による繁盛店づくりコンサルティング事業』を実施しました。

5月のキックオフミーティングでは、今回の対象店舗である「まちの駅宇宿」「天文館まちの駅ゆめりあ」「味の八坂」の3店舗と学生とで、店舗側の要望を踏まえた課題設定シートをもとにディスカッションを行いました。

学生は現地視察やヒアリングをとおして各店舗の現状や課題を直接確認し、店舗の強み・弱みを分析した上で、マーケティングの視点を取り入れて考察しました。

9月の成果報告会では、個店の魅力向上につながる提案をし、学生は「座学で学んだ知識を実践として経験、成果を上げることができた。」と学びを実感できた様子でした。



文学入門講座を企画開催

国際文化学科 村瀬ゼミ

かごしま近代文学館との共催企画として、文学入門講座「有島武郎没後100年 今・読み直す・『或る女』」を開催しました。

作者の生涯、作品の概要と時代背景、モデル問題などについて学生が発表を行い、小林学長を交えて座談・対談形式で講演を行いました。

約50名の来場者があり、「よく調べられていてわかりやすかった」「作品を読んでみたくなった」と感想をいただきました。



英語俳句を地域振興へ活かす

国際文化学科 マクマレイゼミ

霧島地域で、建国神話が支える歴史的価値と特性を活かした観光業の振興を踏まえ、英語俳句を作成しました。

in the summer rain...

the sound of a waterfall
echoes in silence

和訳：雨の中 静寂に響く 滝の音
作：2年 井川菜さん

霧雨に浮かび上がる霧島の情景を見事に体现し、霧島の自然と芸術の調和を再発見することができました。

4年生の田中恩妃さんは「瓊瓊杵尊(ニニギノミコト)からなる建国神話と自然と歴史が調和した空間で地域への理解が深められて良かった」と語っていました。(国際文化学科4年 原有輝)



高校生にアカデミックのよさを伝える

経営学科 ジェフリーゼミ

鹿児島県の事業である「鹿児島の産学連携に学ぶ！アカデミックインターンシップ」に参加し、県内各地の高校生にゼミ活動や大学生活の事を知ってもらうため、『大学生と学ぶ「地域おこし」～南九州市廃校の活用を例に～』と題して、地域でのフィールドワークを実施しました。

小学校の廃校を活用する「リバーバンク森の学校」では施設を見学した後、フォトコンテストを実施し、中学校の廃校を活



用する「タノカミステーション」では、大学生と高校生と一緒にグループワークを行い、高校生の視点での廃校の活用方法を考え、発表を行いました。

一緒に活動することにより、高校生へ大学の楽しさを直接伝えられたのではないかと、達成感に満ちています。
(経営学科4年 三原 翔)

酒蔵の地域性を体験する

国際文化学科 武藤ゼミ

かつて金採掘の際に利用されていた坑洞で焼酎を熟成させるという全国的にも珍しい方法で焼酎造りを行っている、いちき串木野市野下の薩摩金山蔵にてフィールドワークを実施しました。



年間を通して気温が約19度に保たれ、日光が届かない坑洞は焼酎造りに快適な環境であるそうです。坑洞内には焼酎の貯蔵に使われる甕や、金採掘に使用されていた機械や設備が残されており、時代や用途を超えて使用される坑洞の歴史を肌で感じることができました。

今回のフィールドワークを通して、地元のさらなる魅力に気づくことができました。

また、学ぶだけで終わりではなく、学んだことを生かしどう動くかが重要だと考えています。
(国際文化学科2年 坂口 彩)



小大連携プロジェクト

経営学科 中西ゼミ

桜島の桜峰小学校の子どもたちに、大学生との交流を通して、大学に関心を抱いてもらうことを目的とした取り組みで、2019年から続けています。

今年は小学5～6年生4名が来学し、中西ゼミ生の案内による学内見学会のほか、中西准教授による「大学と小学校のちがい」についての話や中西ゼミ生との交流会を楽しみました。



その後も Zoom や手紙でのやり取りを通して交流を深めており、12月には中西ゼミ生の桜峰小学校への訪問が予定されています。

子どもたちからは「将来大学に入学したい」「また会う日が楽しみです」という言葉が寄せられ、中西ゼミ生も大きな達成感を得ています。

